

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10・19	家族アンケートにより、訪ねて行き難いと感じている方が居られることを把握できたことで、全職員の関わり等を振り返ると共に、今後はご家族との良い関係を構築し、理解や協力を求め、意見や要望を受け運営に反映して行く必要がある。	入居者のその人らしい暮らしを、ご家族と職員が共に支え合う協力者としての関係を築く。	ご家族の面会の際、明るい挨拶と声掛けは勿論、入居者の様子やホームの活動内容をお伝えすると共に、ご家族の希望や意見、アイデア等を積極的に伺い会話を多く持つ。ご家族からの意見、要望、アイデア等を取り入れて日々の支援に活かす。	6ヶ月
2	34・35	急変時や事故発生時及び災害対策についてのマニュアルは備えてあり、ミーティングの際に話し合いをする他、避難訓練は実施しているが、実践力として身につけているかの不安は全職員が感じており、安全と安心の確保の為の課題である。	全職員が急変時や事故発生時及び災害時に適切な対応が出来るような、知識、判断、実践力を身につける事が出来る。	マニュアルの見直し検討をする。外部研修への参加の他、内部での勉強会や訓練を実施する。運営推進会議の場を活用し、消防署の協力を依頼して火災避難訓練を実施する。	12ヶ月
3	23	入居者一人ひとりが生きがいを感じられる暮らしの支援を心掛けているが、希望や意向に十分沿う事が出来ていないと受け止め、今後、更に介護の質を向上させていく必要がある。	入居者の一人ひとりのその人らしい暮らしの継続の為、介護の質の向上を図る。	入居者一人ひとりに寄り添いを多くし、思いや希望を受け止める。職員本位な関わりではなく、入居者に共感しながら、本人本位の関わりを持つ。認知症介護についての外部研修への参加や内部での勉強会を実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。